

三小 PTA 新聞

PTA 事務局

「メディア安全指導教室」を実施しました

メディアとは・・・？ PC、タブレット、スマホ、テレビ、新聞、ラジオ等、私たちに情報が提供される媒体を総じて「メディア」といいます。最近はゲーム機としての機能を兼ね備えている物が多く、子どもたちの手に触れやすい環境にあります。そんな環境で育つ子どもたちの健全育成のために実施した「メディア安全指導教室」の内容をお伝えします。

ゲームについて

○ ご存じですか「CERO マーク」



ゲームの年齢制限「CERO」です。日本国内のゲームに推奨年齢や表現に対する審査を経て付けられるマークです。ゲームのパッケージやダウンロードのページに示してあります。「このマークを見て買ってください。」と講師の方はおっしゃいました。小学生は「A」、6年生がギリギリ「B」までとなりますね。

○ ご存じですか「ボイスチャット」

ゲームをしながら、友達はもちろん知らない人とも会話ができるシステムです。「ボイスチャットでゲームをしていて嫌なことを言われたことがある人？」との問いかけに、10人程度挙手をしていました。また、安全指導教室開始前に講師の方と話した際には、ボイスチャットで「子どもの言葉遣いが悪くなります。」とおっしゃっていました。

SNS について

○ メールや掲示板等の字での会話は「会って話すのに対して1%も伝わらない」

文字のやりとりで困った経験はありませんか？いくつか理由があるようです。「短くするために省略すぎるから」「あまり考えずに即座に返信するから」「表情や声の調子がないから」このような理由で与える印象や受け取り方がかわってしまいます。あとは「読み違い」です。「なんでくるの？」が例示されましたが、「どうしてくるの？」と「どうやってくるの？」の二通り読めますが、会話の前後の内容によってトラブルになりそうですね。

また、共感を伝えるため、もしくは、もらうために返信のあるなしが不安材料になるところも文字会話ならではの、無限に終われない状態ができてしまいます。

大人でも難しいのですから、子どもならなおのこと難しく、トラブルに発展しやすいはずですよ。



SNS の投稿に潜む危険



- 写真や動画で個人が特定される！

写真や動画に映り込んだ景色や電信柱でさえ、個人特定につながる情報源になるのだそうです。絶対に写真や本名、住所等を SNS 上に載せないことが大事だと教えてもらいました。

睡眠の大切さ



- 「成長ホルモンは22時から24時の深い眠り時に分泌される」

ゲームを終えたばかりの脳は1時間程度興奮状態にあり、深い眠りに至らないのだそうです。そうすると、ゲームを21時以降に終えて寝たとしても、深く眠れず成長ホルモンの分泌がうまくいかないため、成長に支障が出るということがわかります。

ゲームのしすぎは脳に疾患をもたらすことがある



- 長時間のゲームを継続すると、脳に疾患を及ぼすことがあるのだそうです。いわゆる「ゲーム依存」です。加えて、脳の疾患は治ることはないとのことでした。症状が進むと自制心が保てず暴言や暴力に発展するケースもあるそうです。現在日本には専門的に治療ができる病院は神奈川県に1件だけ。治療が難しいとなれば、依存にならないようにすることが大切です。

メディアを使用するためのルール作り、守ることが大切

- 家族とルールをつくりましょう！

やはりいつでも何でもできる状態は好ましくありません。家庭やお子さんの実態や状況に応じて適切なルールを作って守る、守らせることが必要です。内容としては「使用する時間」のこと、「人とのつながり方」のこと、「お金」のこと等多岐にわたります。親子で相談して作りあげることが大切です。

保護者へ向けて

講話の締めくくりに保護者へ向けた内容で話しをなさいました。

長崎県が推奨していること「はやね はやおき あさごはん」

ゲームやメディアとの付き合い方の側面はもちろん、子どもの健全育成の土台は「はやね はやおき あさごはん」です。生活のリズムを整えることが子どもの育ちには大切です。

「子どもが何を使って、何をしているのかを知らないのは無責任です」

ゲームの内容やどれくらいしているのか、誰としているのか等を把握しておくのは親の務め。「メディアコントロール」は小学生の場合、親がコントロールする割合が多いです。6年生でも親の割合が多いです。

ダメではないのです！

ゲームやメディア使用は、「使い方を間違えなければ楽しくて便利な物です。だからこそ、正しい知識を学んで危険な目に遭わないようにすることが大切なのです。子どもを守るのは大人の役割ですね。